

『使い捨て社会』から『循環型社会』へ

地域と家庭での
取り組みメニュー

いらなくなったら？

●再活用してもらおう。

だれでも気持ちよく使えるようにし、しっかり手入れをして提供します。

- リサイクルショップの利用
- フリーマーケットへの参加
- 『不用品ダイヤル市』の活用

●生ごみの家庭処理にチャレンジ

市は、コンポスト容器の助成をしています【5頁左欄『ご活用ください』を参照】。

●集団資源回収へ出そう

古新聞や雑誌、リターナブルびんなどは、町内会、PTAなど地域住民が協力して行っている集団資源回収に出します。

※リターナブルびん…一升びんやビールびんのように洗って何度も繰り返し使用できるびんのこと。



●リターナブルびんなどもお店に返そう

近くのお店はどのような取り組みをしていますか？どのお店が何を回収しているか調べて、ごみ資源化に協力します。

●適正な分別、そして回収

再使用、リサイクルされ尽くしたら、いよいよステーションへの排出へ。生ごみはしっかり水切りを、また、分別ルールを守って！



市民の取り組み
メニュー

買い物するときには？

●買い物袋を持参しよう

資源の節約のためにも、自分の買い物袋（マイバック）を使います。



●環境にやさしい買い物をしよう

品物の一生を考えて、資源とエネルギーの消費の少ないものを選びましょう。まずは、1回しか使わない『使い捨て』商品なるべく使わないことが肝心です。また、店頭回収など、環境問題に積極的に取り組んでいるお店を利用しましょう。賞味期限切れの食品を生み出さないよう品物を選ぶなど、お店への協力も大切です。

●本当に必要？そんなに必要？

ごみになるものは『買わない、持ち込まない、作らない』ことが、ごみ減量への第一歩。計画的に、必要なものを必要な量だけ買います。

●過剰な包装をこころわろう

中身を取り出したあと、ほとんど捨てられる包装や容器。包装のないものを優先し、最低限のもの、再使用できるものを選びましょう。

お中元やお歳暮などを贈るときも同じです。簡易包装、簡易梱包を心掛けます。



●再利用（リユース）しよう

リサイクルショップやフリーマーケットで購入したり、人に譲ってもらいます。

●再生（リサイクル）製品を買おう

ただ回収するばかりで、再生資源から作られたものを使わなければ、リサイクルのシステムは崩れてしまいます。紙や文具などで再生製品のあるものは、それを優先的に購入します。

●再利用（リユース）できる品物を買おう

リターナブルびんや、詰め替え商品をなるべく選び、また、デポジット制度やレンタルも活用します。

●リサイクルしやすい品物を買おう

何からできているか分かるもの、リサイクルしやすい原材料でできているもの、原材料ごとに分別しやすいものを選びます。



登別市一般廃棄

登別市のごみ量の推移と減量化目標

ごみ減量化目標：平成12年度の水準を目指します

ごみ量（家庭系・事業系合計）

※粗・有は、粗大ごみと有害ごみです。

